

## 高原山 山行報告

【日時】2018.5.20 快晴

【参加者】CL 菅井 八角(記録) 寺崎

【行程】千葉 4:00→7:45 小間々駐車場 8:00→8:40 大間々 8:55→9:40 八海山 10:10→  
10:25 剣ヶ峰→12:05 釈迦ヶ岳 13:00→14:25 剣ヶ峰 14:35→16:05 大入道→  
16:35 小間々駐車場→矢板温泉まことの湯

### 【報告】

日光の周辺には有名な山がいくつかあるが、釈迦ガ岳、大入道の位置や名前は一部の人を除きあまり知られていない山ではないだろうか。この季節、頂上から見下ろす濃い新緑の勢い、遠くまで広がる胸のすくような視界、そして「ヤシオ」の見事さは圧倒的である。山植物に興味の薄い自分でも感嘆の連続だった。

小間々駐車場の脇はヤマツツジが満開である。そこを通り抜け大間々へ向かう緩やかな白樺の遊歩道をゆっくり進む。ここ大間々駐車場も満車。大間々からやがて稜線に出る。天気恵まれ眺めの良い岩場の稜線を少し登ると、八海山神社の祠(ほこら)では多くの登山グループで賑やかであった。



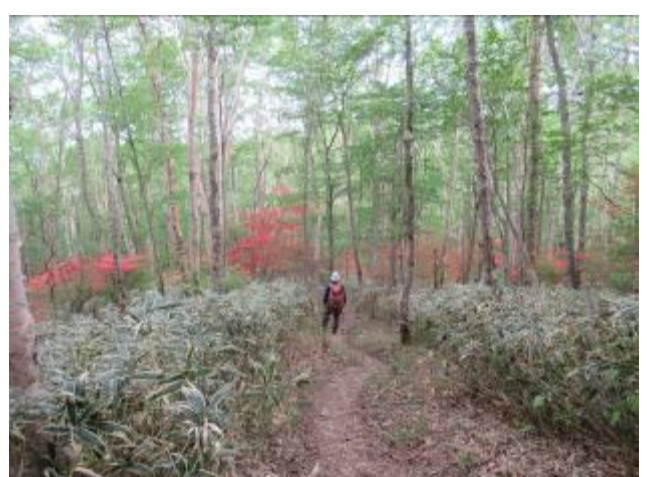
剣が峰に着くと頂上からの展望はない。元の分岐に戻る。谷を隔てた目の前の釈迦が岳へは、尾根をアップダウンしながら右から大きく回り頂上直下を急登する。偶然にも頂上では開山式が行われていた。雨で前日予定が今日になったそうだ。我々もそうだった。多くの登山者で賑わい、式がちょうど終わったところであった。

小さな祠の前で白袴の若い二人が後始末をしている。二人とも白足袋だ。あまり汚れていない白足袋に驚いた。まもなく白袴に登山リュックを背負った白足袋の二人が下山していった。汚れの少ない白足袋によほど歩き方がうまいんだと感心したが、後で僧は頂上で新しい足袋に履き替えていたのだという結論に達した。祠の脇には大きな釈迦の座像がある。



釈迦が岳山頂からの会津の山々

釈迦が岳から隣の鶏頂山に向かう予定だったが、私の体調をリーダーが配慮して鶏頂山をカットし剣ヶ峰から大入道に向かう。シロヤシオはこの剣ヶ峰と大入道の間、剣ヶ峰を下ったところに群生している。周囲全体が新緑に包まれ火口の様子は感じられないが、古い火口の絶壁に近い斜面に群生しているようだ。反対側から来た登山者が10～15年に一回と語っていたように見事なシロヤシオだった。シロヤシオとピンクのトウゴクミツバツツジは、8対2ほどの割合か。樹木には近づけないが、樹木が大きく花の数が見事である。清楚で涼しそうなヤシオを目にする度にみんな感嘆の声を上げた。シロヤシオは、片側の絶壁斜面に群生しているので花に見とれて、ということにならないようにしたい。



ピークの大入道から駐車場までは、全体的には歩きやすいが、長く、下部で二度沢を渡る箇所があり、増水、積雪期はルートファインディングの要素を少し必要とする。日帰り山行であるが充実した登山だった。下山してから少し離れたところだったが、もちろん温泉に寄る。高原山は、釈迦が岳、剣が峰、八海山等周辺の山を総称した名前である。

大入道からの下りの鮮やかなヤマツツジ